

週間漁海況情報—2018年第7号

平成30年2月20日

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

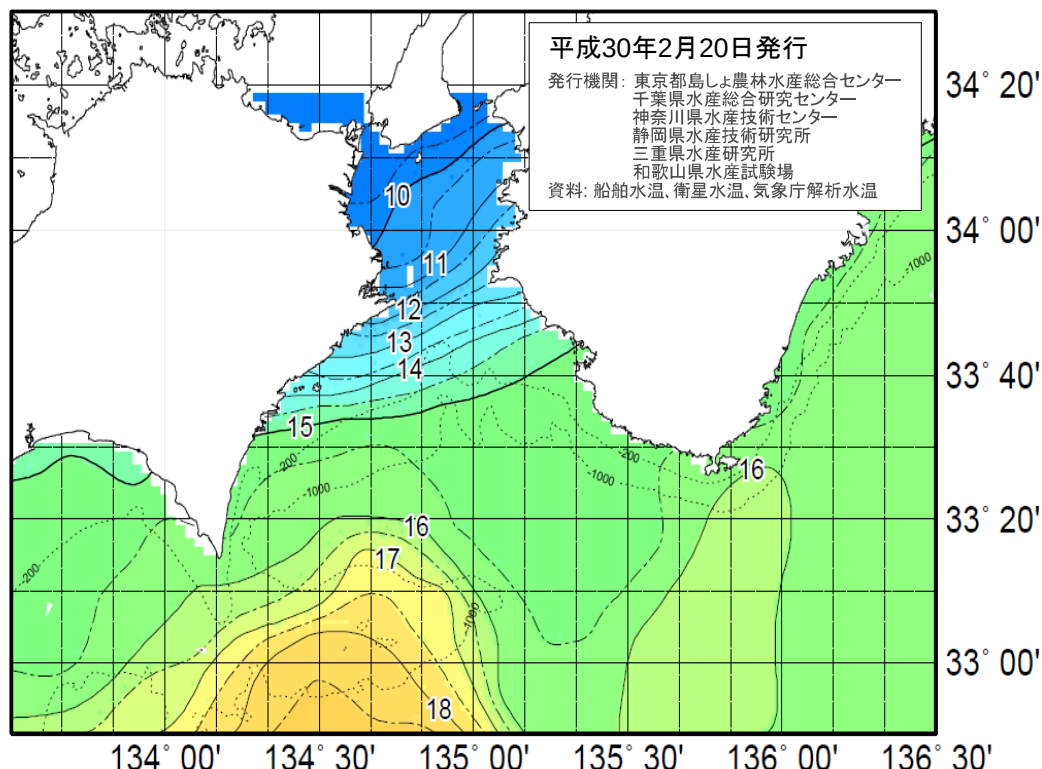
海況

1. 周辺海域の水温

黒潮は、室戸岬沖では引き続き「離岸」ではあるもののやや岸寄りとなった。潮岬沖では引き続き「著しく離岸」で推移した。

徳島県沿岸の水温は、播磨灘で7℃台、紀伊水道で7℃～11℃台、海部沿岸で11℃～14℃台と低くなっている。先週まで、黒潮からの暖水波及に押される形で海部沿岸に水温フロントが形成されていたが、今週に入って影響が弱まったのか、フロントは解消された模様。

黒潮の表面温度は20℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：25～56NM 離岸56～86NM 著しく離岸：86NM～

(いずれも正南方向)

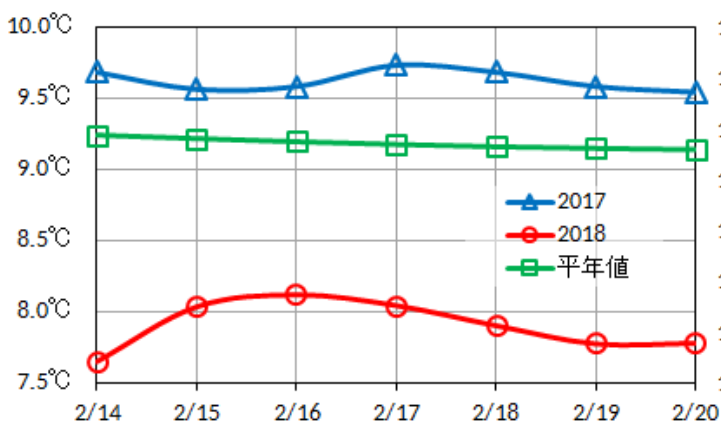
海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

2. 地先水温(2月14日～2月20日)

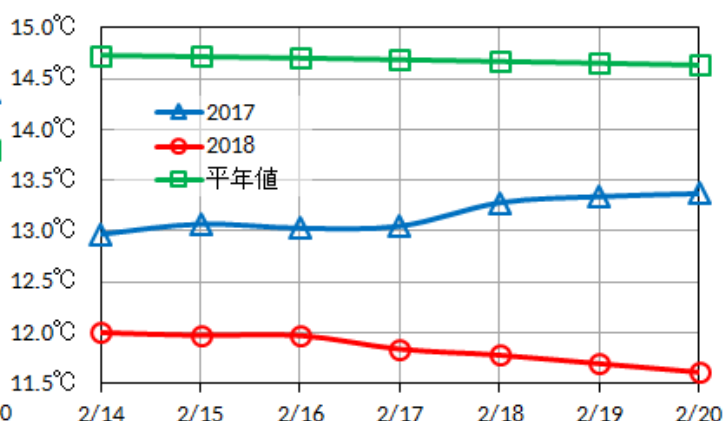
鳴門地区の地先水温は14日に大きく下がって「低め」の7.6℃となったが、以降は「やや低め」で、16日に8.1℃まで上がったが再び緩やかに下がり、19日、20日は7.8℃となっている。

日和佐地区の地先水温は期間を通じて「かなり低め」で、12.0℃から11.7℃まで緩やかに下がった。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1982年～2016年の平滑平均値

3. 週間予報(2月21日～2月27日)

黒潮は、室戸岬沖では「離岸」～「やや離岸」、潮岬沖では引き続き「著しく離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「低め」の7℃台、日和佐地区は「かなり低め」の11℃～12℃台で推移する見込み。

漁況

2018年2月12日～2月18日（旧暦12月27日～1月3日）

1. 紀伊水道(標本漁協数:3)

延縄では、シマフグが増えて0.7ト、サワラが前週並みの0.5ト、ブリがめじろ級主体に0.3ト水揚げされた。

小型定置網ではキチヌ(きびれ)が前週並みの2.5ト、ボラが減って大主体に1.1ト水揚げされた。

底びき網では、コウイカが前週並みの1.0ト、シリヤケイカも前週並みの0.7ト水揚げされた。

2. 海部沿岸(標本漁協数:4)

釣りでは、ブリがめじろ級主体に0.3ト水揚げされた。

建網では、ヒラメが大きく増えて0.8ト、メジナも大きく増えて0.9ト水揚げされた。

小型定置網では、カタクチイワシが増えて1.5ト、マアジが小小主体に1.1ト水揚げされた。

大型定置網では、ブリがめじろ級主体に0.4ト、スルメイカが小小主体に0.4ト水揚げされた。

漁獲量集計表(漁獲が0.2ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※	
					1日1隻あたり 平均漁獲量			
紀伊水道	延縄	45	シマフグ	740	16		↗	
		30	サワラ	452	15		→	
		12	ブリ	343	29	めじろ主体	↗	
	小型定置網	28	キチヌ	2,537	91		→	
		12	ボラ	1,081	90	大主体	↘	
		23	マアジ	499	22		↘	
		26	マダイ	348	13	小主体	↗	
		24	クロダイ	291	12		→	
		底びき網	47	コウイカ	1,005	21	大主体	→
			46	シリヤケイカ	720	16		→
	37		えそ類	607	16		↗	
	30		かます類	468	16		↗	
海部沿岸	釣り	36	ブリ	336	9	めじろ主体	→	
		12	タチウオ	261	22		↗↗	
	建網	59	メジナ	924	16		↗↗	
		81	ヒラメ	760	9		↗↗	
		47	カサゴ	267	6	中主体	→	
		34	アイゴ	257	8		↗↗	
	小型定置網	26	カタクチイワシ	1,506	58		↗↗	
		24	マアジ	1,114	46	小小主体	↗	
	大型定置網	7	ブリ	413	59	めじろ主体	↗	
			スルメイカ	379	54	小小主体	→	
			クロダイ	249	36	大主体	↗	

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘